

平成21年度 各会計決算を認定

平成21年度の一般会計、特別会計及び企業会計決算は、第7回市議会9月定例会に上程され、9月13日に議長及び議会選出の監査委員を除く24人の委員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、安部匡俊委員長、小林均副委員長のもと、21日、22日、24日及び27日の4日間にわたって決算審査を行いました。

地方の財政環境が一段と厳しさを増す状況の中、委員会の審査では、21年度の行財政運営の実績や各施策の効果などについて活発な議論を交わし、全会計の決算を認定しました。

決算審査の概要

一般会計

歳入

問 不納欠損額(29,875千円)の税目ごとの件数は。

答 市民税836件、固定資産税1,346件、軽自動車税218件である。

歳出

議会費

問 決算に占める議会費の割合は。

答 平成16年度1.33%、平成17年度1.27%、平成18年度1.26%、平成19年度1.06%、平成20年度1.04%、平成21年度0.92%である。

総務費

問 地域振興整備基金の取り崩しの内訳は。

答 霞ヶ城公園トイレ改築工事に27,880千円、さくらの郷トイレ改修工事に9,737千円、歴史まちづくり整備事業に7,444千円等である。

問 集会施設敷地民有地借上補助金の対象は。

答 集会施設の敷地を民間から借り上げている111の行政区等(二本松30、安達15、岩代24、東和42)である。

民生費

問 出産祝金の支給対象者の内訳は。

答 第1子目となる出生児164人、第2子目157人、第3子目98人である。

問 おもいやり駐車場設置状況は。

答 市内の48公共施設で73台分、18民間施設で37台分である。

衛生費

問 河川等の水質検査結果をどう役立てているのか。

答 基準値を上回る結果となった場合は、行政区にお知らせする。また、広報紙やホームページに掲載している。

農林水産業費

問 土地改良事業等に係る債務負担行為の平成21年度末現在高は。

答 二本松地域456,366千円、安達地域2,322,461千円、岩代地域47,975千円、東地域592,020千円。

商工費

問 岳温泉への観光入込客数は。

答 宿泊者が316千人、日帰り客が57千人。

土木費

問 歴史まちづくり整備事業に係る基本構想策定について。

答 現在、国や地元と協議中であり、最終的な方向性が出てから示したい。

消防費

問 消防設備を更新する際の根拠は。

答 消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプは、配備後約20年で更新。

教育費

問 英語指導外国青年招致事業と外国語活動講師派遣事業について。

答 中学校生徒の英語指導助手として3名を雇用。また、小学校5・6年生を対象に外国人講師2名を派遣している。

問 二本松地域の給食経費に賄材料費や給食費負担金が計上されていない理由は。

答 二本松地域は自校方式のため、私会計となっており、一般会計には計上されない。

災害復旧費

問 公共土木施設災害復旧事業となる要件は。

答 1カ所の工事費が60万円以上、時間雨量20mm以上、日雨量80mm以上が該当。県が災害として動くものが該当。

特別会計

介護保険

問 配食サービスの委託先と実績は。

答 社会福祉協議会に委託し、平成21年度では16,040食分を宅配した。

土地取得

問 公共用地の先行取得について。

答 所有者からの売却の申し出により取得。今後は、整備計画策定について検討する。

佐勢ノ宮住宅団地造成事業

問 分譲区画の残数と売却努力について。

答 残り18区画。チラシ配布や月刊誌への広告掲載を行った。

安達簡易水道事業

問 計画区域と計画人口は。

答 山ノ入、米沢、吉倉の区域。計画人口は932人。

岩代簡易水道事業

問 給水件数が前年度と比較して8件減少し、853件となった要因は。

答 社会的減が主な要因である。

東和簡易水道事業

問 公債費の繰上償還について。

答 平成19年度に許可を得たもの。年利5%以上の残債(92,800千円)を低利資金への借り換えを行うことにより将来負担の軽減を図った。

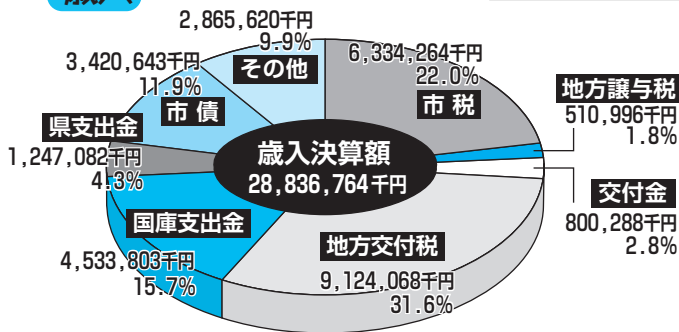
企業会計

水道事業

問 未収金について

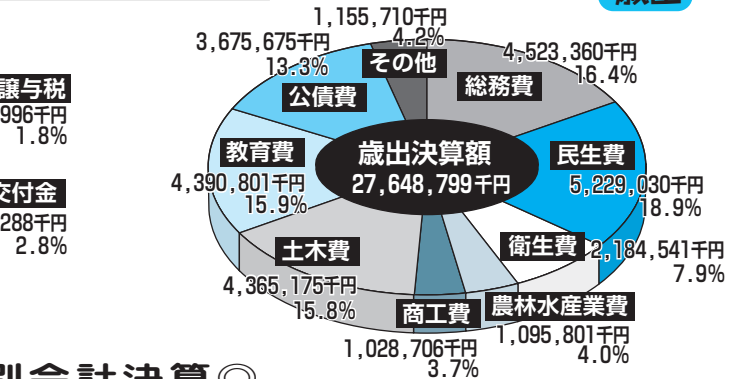
答 営業未収金101,161千円、営業外未収金23,464千円、その他の未収金60,277千円。

歳入



◎ 一般会計決算 ◎

歳出



◎ 特別会計決算 ◎

区分	国民健康保険		老人保健	後期高齢者医療	介護保険		土地取得	公設地方卸売市場	工業団地造成事業
	事業勘定	直診勘定			保険事業勘定	介護サービス事業勘定			
歳入	6,071,165	138,947	12,346	491,357	4,103,773	21,938	10,698	8,699	72,076
歳出	5,907,292	137,539	10,979	490,540	4,036,235	18,271	10,698	5,868	62,076
翌年度へ繰り越すべき財源	1,733	0	0	0	0	0	0	0	0
実質収支額	162,140	1,408	1,367	817	67,538	3,667	0	2,831	10,000

区分	佐勢ノ宮住宅団地造成事業	安達簡易水道事業	岩代簡易水道事業	東和簡易水道事業	安達下水道事業	岩代下水道事業	茂原財産区	田沢財産区	石平財産区	針道財産区
歳入	44,057	26,084	119,604	389,212	279,739	149,431	1,324	343	3,568	141
歳出	44,057	26,080	119,584	389,180	279,739	149,417	1,130	166	3,462	88
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実質収支額	0	4	20	32	0	14	194	177	106	53

◎ 企業会計決算 ◎

区分		工業団地造成事業	宅地造成事業	水道事業	下水道事業
収益的	収入	124,651	0	964,634	612,526
	支出	106,482	-	854,437	608,701
資本的	収入	-	-	184,838	308,167
	支出	125,000	-	491,163	479,893